

長年の課題となっているゴミ処理。地球温暖化の中、燃やすのではなく資源化が大きな課題となっています。また、少子化の進展に加え、人口減少対策が喫緊の課題となっています。この解決策を見出そうと先進地を視察しました。

## 徹底したゴミ資源化を実現する香川県三豊市



バイオトンネルへのゴミ搬入の様子

奥出雲町単独では困難ですが、雲南広域での導入などゴミ資源化を実現するトンネルコンポスト方式は大いに検討すべきものです。

### 委員会の意見

平成20年から「ゴミは大切な資源」との方針を立て、市内一斉にゴミの18分別を開始し、埋め立て処分も焼却もせず、徹底したゴミの資源化に取り組まれています。

そのメインとして本年度より稼働した「トンネルコンポスト方式」のゴミ処理は全国から注目されています。家庭や事業所から搬入された燃やせるゴミを破砕混合し、土着菌の発酵促進剤を加え、バイオトンネルと称する間口6m奥行35mのトンネルに搬入し、17日間置いたあと固形燃料に加工し、製紙工場にて全量活用するものです。

公募にて選考した業者が、民設民営で運営しています。

## 全国トップクラスの出生率を実現した奈義町

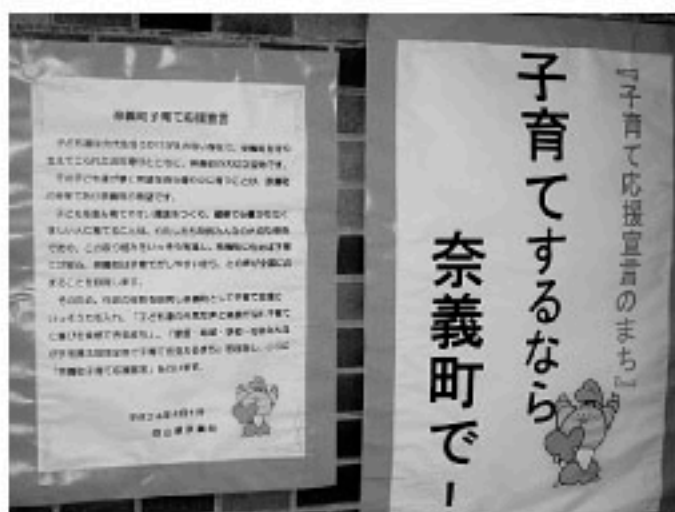
住民投票により合併しないことを選択した人口6200人あまりの岡山県奈義町は、平成26年合計特殊出生率2.81を達成し、全国から注目されています。

小さい町だからこそできるきめ細やかなまちづくりを進め、子供からお年寄りまでが住みよい、子育て、医療、福祉などライフステージに合わせた多様なサービスの充実を図っています。

特に「子育て応援宣言」を制定し、子育て支援の施策は23項目にわたり、環境・デザインにこだわった若者向け賃貸住宅の整備など、あらゆるかたちで支援が行き届いています。

### 委員会の意見

奥出雲町においても様々な子育て支援策を講じていますが、これまでの対策を十分検証し、より効果のある本町ならではの新しい施策が必要です。



奈義町内の各所に掲示されている「子育て応援宣言」